

植田良介 議員

議員の報酬及び費用弁償について

質 植田良介

報酬、費用弁償に焦点を当てて、住民に求められる村議会のあり方について村長のご意見を伺いたい。まず、期末手当をなくす考えがあるか。

答 村長(志喜屋文康)

現時点では考えてない。

質 植田良介

費用弁償の中の交通費や宿泊費は必要経費だと思いますが、今日の社会状況において日当は職務に必要な経費と言えるでしょうか。

答 村長(志喜屋文康)

議論の余地はある。役場職員は宿泊を伴わない旅行については日当が廃止されている。議会です十分議論していただくことが大事。

質 植田良介

自治体は報酬を支払う義務があります。明確な基準はありません。日当制にした自治体もあります。ブログで住民のご意見を拝見して、額に見合う仕事をしているのかというご意見が非常に多かった。村議会も委員会合わせて年間七〇日くらいしかありませんから、住民から見れば五日に一日だけ仕事と見えな

いことはない。私は議員が住民のために活発に活動する方向を目指した方がいいと思っています。議会にどのようなあり方を期待しているか。

答 村長(志喜屋文康)

我々に対するチェック機能であり、車の両輪のごとく村づくり、村民福祉のために一緒にしっかりとやっていければと考えている。

質 植田良介

議員の専門化が必要だろうと、行政は片手間でできない。議会は両輪ですから、やはり、こ

答 村長(志喜屋文康)

私もそうではないかと思ってい

たわけです。

答 村長(志喜屋文康)

今の状況では無理。議員おのの判断の部分が出来ます。村民の求めに 대응することが出来るか。議会内の改革やっていく中で、専業でやっていける体制検討するのが大事だと思っています。

質 植田 豊

仲田 豊 議員

地域活性化・生活対策臨時交付金について

質 植田 豊

制度の概要、県、当村の交付限度額を聞きます。

答 企画課長(外間 毅)

制度の概要は平成二〇年に経済対策閣僚会議において決定された地域活性化等に資するきめ細かなインフラ整備等を進めるため創設された制度。県の限度額は五一億九七六万二千元で当村

質 仲田 豊

は八、六一二万五千元です。

質 仲田 豊

その事業計画を聞きたい。

答 企画課長(外間 毅)

四課の事業計画で村の海浜ビーチ管理棟建設、地域域活動支援センター建設、村雇用対策支援、村観光雇用対策支援で実施計画について行っています。

子育て支援について

質 植田 豊

一、支給金額と支給対象者。二、手続き方法と手続き期間。三、定額給付と同時給付はできないか。四、村内の給付人数。その事に関し答弁願います。

答 福祉健康課長(平良幸夫)

金額は児童一人につき三万六〇〇〇円。支給対象は二子以降で平成一四年四月二日から平成一七年四月一日生まれで住民基本台帳に記録されている方。手

質 当山君子

工事の進捗状況について。

答 建設課長(古賀弘之)

県として国道58号線より1.7kmの事業計画の内、約800mについて平成20年度に土工工事、平成21年度は約560m、平成22年度は約240mと順次整備すると伺っております。

質 当山君子

工期日程の立て看板の設置を工事発注者である県に看板の要請できないか。

答 建設課長(古賀弘之)

工事用看板は設置されており、全体の事業看板はありません。地域住民へ知らせるうえで必要。県へ要請したい。

生涯学習について

質 当山君子

(一)生涯学習データバンクの人材登録の再調査はされたか。(二)今後、生涯学習データバン

当山君子 議員

国道58号線にアクセスする安富祖集落の進道路について

質 当山君子

安富祖川沿い進道路の拡張と安全対策はできないか。

答 農林水産課長(大城哲夫)

安富祖川沿い集落入口の農道は平成8年土地改良総合整備事業で共同減歩により拡張しており、農道の拡張は厳しい。

質 当山君子

今、国道58号線沿い工事しておりますので村長で国道事務所にて要請できないか。

答 村長(志喜屋文康)

要請したいと考えております。

施政方針について

質 仲田 豊

ドラセナ類などは市場評価も受け、一層の産地形成を推進いたしますといわれております。拠点産地認定を受けたが去年から暴落し生産者は嘆いている。農振、花卉部会に働きかけはあるのか見解を伺います。

答 村長(志喜屋文康)

村として手をこまねいてはいけません。販路の部分はどうするか。農協主体か、それ以外の組織をフル活用するのも含めてしっかりとやっていきたい。



安富祖川沿いの国道からの侵入路

県道一〇四号線の道路拡張について

クの発刊予定は。

答 社会教育課長（金城忠博）
（一）早急に再度意思確認していただきたい。

（二）個人情報保護の観点から予定しておりません。

質 当山君子

教育長に、本村の生涯学習データバンクについてお伺いします。

答 教育長（西銘宜寿）

人材バンクは必要と認識しており、あらゆる分野の人々の調査し情報収集したい。

系数 昭 議員

公共工事のやり方について

質 系数 昭

山田地区の下水道工事の残土処理は、同時期塩屋に村営住宅の建設地に残土を入れ、経費の掛からない計画でした。その後村営住宅地の買収契約の遅れで

残土を入れることができなくなり、残土を村外で処理する追加

運搬費が発生、それに21年度に村営住宅地の埋める経費も発生しました。折角節減対策も考えた工事ができたのに、できなかったことに残念に思います。

この工事のやり方について答弁をお願いします。

答 上下水道課長（当山 均）

用地買収との関係で村営住宅の事業実施と時期的にかみ合わずやむを得ず石川で残土処理行うことになりました。結果契約増となっております。

答 建設課長（古賀弘之）

当初は下水道工事より発生する残土を受け入れて、村営住宅整備工事の予定をしていましたが、整備用地の買収の遅れにより工事が遅れ、下水道課と残土の1次仮置き場を含め協議をしました。周辺に1次仮置き場できる場所がないということで、今回の処理はやむを得な

いものだ考えております。

質 系数 昭

村財政が厳しい中工事の見直しや改善で工事に対して関係課連携し処理すれば多大な節減効果をもたらすと思えますがどう思われますか。

答 建設課長（古賀弘之）

今後とも機会がある毎に関係課と連携して経費の抑制に努めたいと思います。

質 系数 昭

二度と起こさないように、是非各課勉強会、学習会を行ってもらいたい、今後の下水道工事に活かせるには、どのような職員教育を考えているか。

答 副村長（池宮城秀光）

今後関係課と協議していききたい。また、庁議の中でもきちんとやるようにしていきたい。

山城郁夫 議員

村内保安林にある墓地について

質 山城郁夫

村内に、何件ほどあるのか。

答 村民課長（仲西智直）
151基程。

質 山城郁夫

仮墓が恩納と南恩納でありますが、これは計算の中に入っていますか。

答 村民課長（仲西智直）

入っております。恩納区が28基、南恩納が61基あります。

質 山城郁夫

そのようなお墓の持ち主に対し、国あるいは県から、何らかの指導があるのか。

答 村民課長（仲西智直）

ありません。

質 山城郁夫

村としても対応が苦慮している。厳しいということではありませんか。

答 村民課長（仲西智直）

今後は改築、新築とかな場合は基本計画に基づいて誘導する。

質 山城郁夫

今後村として、そのようなお墓に対し、どのような対応、またどうあるべきと考えているか。

答 村民課長（仲西智直）

恩納村墓地基本計画に沿って対処する。その中で、墓地取得で困難な方、あるいは区の要望があれば調整し、墓地団地を計画し、区からの要望を勘案し対処したい。

質 山城郁夫

恩納村墓地整備計画の中で、墓地整備については、自治会からの要請に応じ対応するとなっております。この趣旨をお聞きします。

答 村民課長（仲西智直）

区からの要請に対し、保安林解除、農地法、国定公園法の解除が出来れば対処していきたい。

吉山盛次郎 議員

村長施政方針について

質 吉山盛次郎

図書館設置の進捗状況について伺いたい。

答 社会教育課長（金城忠博）

平成24年度供用開始を目標に、図書館計画推進委員会設置規定を作成し、検討をしていく。

質 吉山盛次郎

山田グスクが整備される、どのような財源が確保されるのか。具体的な施策伺いたい。

答 教育長（西銘宜寿）

21年度管理計画を策定します。国から八割、県と村で二割の財源負担。

質 吉山盛次郎

村の観光資源にもなる商品化できるか。

答 教育長（西銘宜寿）

村にある文化財を活用し観光振興に寄与できる方法で取り組んでいきたい。

小中学生（児童・生徒）の持久力の向上に係る施策について

質 吉山盛次郎

村児童生徒の状況を伺います。

答 学校教育課長（津嘉山 弘）

男女とも全学年で県の記録を上回っており、全国比較で下回っている。

質 吉山盛次郎

各学校で持久力向上に向けてのカリキュラムがあるか。

答 学校教育課長（津嘉山 弘）

安富祖小学校で毎日、8時10分から5分間をランタイムとして軽いランニングが行われている。三年以上継続して実施している。

質 吉山盛次郎

今度、開通するバイパス道を記念してロードレースを開催できないか。

答 社会教育課長（金城忠博）

北部国道事務所に確認したところ、バイパス供用開始が九月

平成20年度にスタートした特定健診及び特定保健指導について

質 吉山盛次郎

事業に係る税源措置と実施状況、費用対効果を伺います。

答 福祉健康課長（平良幸夫）

財源は国、県、村1.3ずつ負担。受診状況は、村全体で48.4%。県平均が22.7%であり、倍以上の受診率となっております。特定保健指導は768人指導を受けています。費用対効果は実施一年目です。費用対効果は実施一年目です。費用対効果は実施一年目です。

ありまだ判断できない。がん検診は集団検診のみだったが個別検診でもがん検診を実施して受診率の向上に努めていきたい。